

蘭越町総務課渡辺・坂野・今野との面談記録

面談日：2023(R5)年11月24日

面談場所：蘭越町会議室

[野村]

あなた方にとって、どう見えてるか、僕は聞いてるんです。あなた方じゃなくて、渡辺さんから、僕がどう見えてるか、僕はしてるんですが。

[渡辺]

簡単に言えば、言ってることは、分からないではない・・・(不明)・・・のことを言ってることもあるかもしれない。ただ、こうやって大きい声で、威圧するような、担当者とかってというのはどうかと思います。

[野村]

さっきも言ってる通り、ここに、ここにね・・・

[渡辺]

話すのって、対話じゃないじゃないですか？私たちの話を・・・

[野村]

あのね、渡辺さんは、僕が「もうしょうがないな」と思って、やりたくもなかったけど、何回も何回も、本当に脳みそから血の汗が流れるような思いをして、過去の嫌なことを、読み返して、活字を起こして、それを誰が見てもわかるように、裁判官が見ても分かるように文章にまとめたものが、いくつかありますよ。1回でも見たことありますか？

[渡辺]

いや、来てるものは見えますよ。

[野村]

来てるものは、見えます？ウェブ上でも見れるようにしてますよ。誰が見ても分かるようにしてますよ。見たことありますか？

[渡辺]

見てますよ。

[野村]

見てます？それ見る人それぞれだから。それを持って、僕が思ってる通りの、印象を持つ人と、全くそうじゃない人がいるのは、差があるとは思いますが。温度差があるのは当然。ただね、そこに書いてあることは、「ここまでやってるのに・・・」  
「ここまでやらないと駄目なのか」っていうぐらい。同じことを、総務課に対しては、工藤さんと、今野さんに対しては、僕は法律論で、散々、話をしてるのに、  
(工藤さんと今野さんは) 法律論に付き合わないで、裏側で「服町長からこう言われた」ということだけで、「できない。できない」の一点張りで、膨大な時間を失ってる、僕は。膨大な時間を。まとめてて、僕も気が狂いそうになったけどね。

同じようなことを坂野さんに感じてるよ、同じことを。結局ね、お互いに話し合いが成立しないで、片っぽが、誠意がなければ、片っぽが全く、もう前に言ったことも忘れてしまって、もしくは、忘れてしまってるふりをしたら、いつまでたっても、進展しないんだよ、そういうことを僕は感じるよ、坂野さんに。